



市議会だより

大月市

平成 29 年 2 月 28 日発行 No.145

特集 消防団×市議会



CONTENTS

- ・特集（消防団×市議会）…………… P. 2～ 3
- ・平成 28 年第 7 回市議会定例会
（主な議案の内容）…………… P. 4
- ・議決結果一覧表…………… P. 6
- ・代表質問・一般質問…………… P. 7～13
- ・研修報告等…………… P.14～17
- ・議会日誌…………… P.18



特集

地域防災について語る

大月市消防団 × 大月市議会

「カンカーン・カンカーン！」年の瀬が迫った頃、毎年聞こえてくる消防団の夜警の音は、市民に「火の用心」と語りかけてくれている。火事や地震等の災害に対し、常日頃から訓練を行い、市民の安全安心に取り組んでいる消防団が抱える課題は何なのか。じっくりお聞きすることが出来ました。



総務産業常任委員会

自助・互助・共助・公助の要である消防団が、いつまでも市民の安心・安全を守り続けるために必要なことは何でしょう

【市議会】

団員の確保が課題です。若い人たちが帰ってこられないようなまちづくりがないと厳しいと思う

【消防団】

Q 今日皆さんのご意見をお聞きする機会です。ざっくりばらにお話してください。

・団員のなり手が少ないという現

状があり、部長を卒業してからも再入団してもらっていない。

・山奥では、跡取りも家を出てしまふことが多く、若手がいない。

・2040年の人口を19,000

×

0人とする目標を立てているようですが、若者がいなくて年配者ばかりになってしまったら、消防団の運営も非常に厳しいので若い人たちが、帰ってこられないようなまちづくりがないと厳しいと思う。

Q 入団してくれない理由は何だと思えますか。

・親の世代の消防は嫌な思いをしていたらしく、親御さんが背中を押してくれることが少ないと感じます。

Q 昔、梁川に女性消防隊があったと思えますが、女性団員はいますか。

・現在、賑岡に女性団員が1人いますが、女性消防団員を誘おうにもトイレなどの環境が整備されないと難しいです。

・先程から団員のなり手がいないという話が出ていますが、団員以外にも我々のような役員のなり手もない。

・丹波山村では、現在の団長も副団長も現職の村会議員だそうです。大月市でも役員を決める時に、やる人がいないので実際には押し付け合いになっています。丹波山村とは人口規模も違いますが、市議会議員の先生方には多方面にわたる是非ともご協力を頂きたいです。

Q 団員を集めるためには何が必要だと思えますか。

・東京消防庁のOBや自衛隊OBの方々に協力団員として検討してもらってはどうか。

・都留市では消防団員サポート店を始めているので、後追いになるかもしれないですが、少しはためになるかもしれない。

・以前、その都留市の事例を引き合いに出し、一般質問で取り上げたということですが、その後、議論されておらず、進捗もしていません。この現状だと思います。サポート店によって様々なサービスがありますが、もし、その話を



正副団長・分団長

進めるのであれば、やはり消防団のサポートですから、トップである消防団長が音頭をとって、進めるのかなという気もしますが、サービスを提供する店側の負担も生じますので難しい部分もあります。都留市では、市が補助したりしているのでしょうか。

のぼり旗等の整備に対し年間10万円程度の補助をしていますが、各店舗のサービスはお店のご厚意によるものだそうです。

(意見交換終了後、都留市に確認)

Q 施設に関しては何かありますか。

・消防車に関してですが、軽自動車ですと急な坂道を上る時などは後ろから押してやろうかと思うほどスピードが出ません。また、県の総合防災訓練の時にはヘリの離発着の時に総合グラウンドに水を撒くのですが、その際に必要なホースは24本です。先日、入れ替えた軽自動車のポンプ車には8本しかホースが積めません。後部座席に3本積んでも11本しか積めません。入れ替える場合、軽自動車でないといけないのでしょうか。

地域の実情に合わせて選択して頂くこととなっています。慎重に検

討して頂きたいと思います。

・10年程前に続き、昨年も消防団で消火器の販売を行いました。しかし、ホームセンターで安く買えるせいか、50数軒の中で3件ほどしか注文がありませんでした。各家庭には10年以上前の古い消火器しか無いのではと心配もしていますし、各家庭で購入していただきますし、各家庭で訓練もしていかないと思います。何といっても初期消火が大切です。予算をとって各家庭に消火器を配備することも検討して頂きたいと思います。

本日は消防団の役員の皆様の切実なるご意見を頂くことができました。議会として対応すべきことについてはしっかりと対応し、ご報告をさせて頂きます。大月市の安心安全のための常日頃の活動に感謝を申し上げ、お礼の言葉と致します。

大月市議会第7回定例会

こんな事が決まりました

12月1日～16日（16日間）

今定例会の議案

市長提出	議会提出
・ 条例案件……………5件	・ 条例案件……………1件
・ 補正予算案件…………14件	・ 請願……………1件
・ その他の案件…………2件	・ 選挙……………1件
・ 人事案件……………1件	・ 意見書案……………1件



主な議案の内容

予算（補正）

◎平成28年度 大月市一般会計補正予算（第4号）

○庁舎非常用電源整備
（5,566万3千円）

「庁舎の防災対策」として、現在、本市の本庁舎・第2庁舎には、非常用発電設備がなく、非常時には災害対策本部が設置されることや被災時の活動に必要な庁舎機能を維持・確保するため、また、トラブル等による急な停電時にも、通常業務を継続できるようにするための工事費です。

○学童クラブ施設建設事業
（201万8千円）

猿橋町伊良原にあります「学童クラブひまわりⅡ」の

建設に伴う設計費です。

○市営住宅改修事業
（3,315万1千円）

市営石堂団地の外壁及び防水工事費です。

○学校施設宮繕工事費
（1億8,617万8千円）

小中学校にエアコン設備を設置する工事費です。現在、市内全7校のうち4校は未整備で、今回は七保小学校、猿橋中学校に設置するための工事費です。

その他

○市道の路線認定

道路法第8条1項の規定により、市道の路線認定を行うもの。

・ 路線名 新田線

L≒150m

W≒4・0～8・0m

○市道の路線変更認定

道路法第10条第2項の規定により、市道の路線変更認定を行うもの。

・ 路線名 市道中野1号線

L≒388・9m→L≒80

0m

・ 路線名 市道中野山谷線

L≒1,027・1m→L≒

880m



現地調査

委員会審査の様子

総務産業常任委員会

非常用電源設備について

Q 非常用電源設備が、今までは無かったが、無くて良かったのか。また、設置する場所はどこになるのか。

A 大月市役所には建設時に設置が無いままここまで来たのですが、災害時等に必要なので、もっと早い時期に設置すべきかと思えます。県内でも設置されていない庁舎は、大月市を含め2つの自治体という状況の中、本市も整備する必要があり、有利な起債が今年度限りということ、補正予算に計上いたしました。また、設置する場所は庁舎裏の駐車場の一角を予定しています。

社会文教常任委員会

廃校の利活用について

Q 閉校後の校舎の利活用は進んでいるか。また、耐震性の無い校舎についてはどうお考えか。

A 体育館は、社会体育施設として開放している事実もあり、当面同じ方向でと考えていますが、校舎の耐震性の無いところは、貸し出しをする考えは持っておりません。耐震性のあるところは、管理等どうするか検討しながら、貸し出すことも可能と考えます。また、閉校後の学校施設は、学校教育課のみで方向性を出すのではなく、庁内全体で検討しているところとです。

市立図書館のシステム改修に伴う閉館について

Q システム改修に伴う閉

館期間はどの程度か。受験シーズンで、図書館を利用したい方もいるので、今後は、この時期は避けてほしい。

A 期間は12月22日から1月4日までとなります。システムの入れ替え等、短期間で行うには、閉館して行うのが一番よろしいかということ、申し訳ありませんが今回は、この形でやらせていただきたいと思います。今後は、時期を配慮するように致します。



市立図書館

「庁舎並びに所管する施設での政党機関紙の販売、勧誘、集金の禁止措置を求める請願」に対する討論

◆反対討論(要旨)

藤本実議員(日本共産党)

請願では、政党機関紙一般の禁止措置を求めています。請願者も述べたように現状では、日本共産党の「しんぶん赤旗」を狙い撃ちしたものに なっています。

私が市の幹部職員の方々に「しんぶん赤旗」を勧めるのは、住民の側に立った市政運営を進める際に、役に立つからです。

これまでの「しんぶん赤旗」の購読依頼、配達・集金は、総務部長の答弁のとおり「業務に支障がない程度で、構わない」と、実態を確認して認められてきたことです。

職員の職務遂行の妨げにならないようなものではありません。そのようなことから、請願は、行き過ぎた行為です。

◆賛成討論(要旨)

鈴木基方議員

議員という強い立場からの職員への政党機関紙の販売、勧誘、集金は職員への心理的強制が疑われ、憲法に保障された、公務員の思想信条の自由を抵触する恐れがあります。個人が政党機関紙を購読する自由があるので、販売、勧誘、集金は個人の家で行われるべきです。職務上、政治的中立性が求められる職員の庁舎内での政党機関紙購読は、政治的中立性を疑われる恐れがあります。

現状を放置し、様々な政党関係者が、政党機関紙購読を求め、職務中に職員のところを回ると、迷惑するのは職員であり、市民です。

庁舎並びに所管する施設での政党機関紙の販売、勧誘、集金が、禁止という形になれば、職員も安心安全な思いで職務につけます。

平成 28 年 12 月定例会議決結果等一覧表

(賛成○ 反対● 欠席=欠) ※山田 善一 議長を除く

種別	議案番号	議 員 名 案 件 名	萩原	大石	相馬	奥脇	古見	小泉	西室	小原	鈴木	小林	藤本	相馬	鈴木	結 果
			剛	源廣	保政	一夫	金弥	三雄	衛	文司	章司	信保	実	力	基方	
条例	第 75 号	大月市ひとり親家庭医療費助成に関する条例中改正の件														原案可決
	第 76 号	大月市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例中改正の件														
	第 77 号	大月市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 88 号	大月市職員給与条例中改正の件														
	第 89 号	大月市特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例中改正の件														
	第 97 号	大月市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例中改正の件	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	
補正予算	第 78 号	平成 28 年度 大月市一般会計補正予算 (第 4 号)														原案可決
	第 79 号	平成 28 年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算 (第 3 号)														
	第 80 号	平成 28 年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)														
	第 81 号	平成 28 年度 大月市簡易水道特別会計補正予算 (第 1 号)														
	第 82 号	平成 28 年度 大月市下水道特別会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 83 号	平成 28 年度 大月市介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)														
	第 84 号	平成 28 年度 大月市介護サービス特別会計補正予算 (第 1 号)														
	第 85 号	平成 28 年度 大月市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 2 号)														
	第 90 号	平成 28 年度 大月市一般会計補正予算 (第 5 号)														
	第 91 号	平成 28 年度 大月市大月短期大学特別会計補正予算 (第 4 号)														
	第 92 号	平成 28 年度 大月市国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)														
	第 93 号	平成 28 年度 大月市簡易水道特別会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	第 94 号	平成 28 年度 大月市下水道特別会計補正予算 (第 3 号)														
	第 95 号	平成 28 年度 大月市介護保険特別会計補正予算 (第 3 号)														
その他	第 86 号	市道の路線認定の件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
	第 87 号	市道の路線変更認定の件														
人事	第 96 号	大月市恩賜県有財産保護財産区管理委員会委員の選任について同意を求める件	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
選挙	選挙第 7 号	大月市選挙管理委員会委員の選挙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	当选
請願	請願第 3 号	庁舎並びに所管する施設での政党機関紙の販売、勧誘、集金の禁止措置を求める請願	○	○	●	○	●	○	●	○	●	○	●	○	○	採択
意見書	意見書 第 3 号	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書 (案)														継続審査



市政を問う

12月定例会

代表質問・一般質問

代表質問・一般質問とは、市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただしたり、報告を求めたりするもので、各定例会で行われます。

今定例会では、6名の議員が質問を行いました。

● 代表質問

(1) 西室 衛議員 (清風会&公明) 8ページ

- ①平成29年度の予算総額及び、重点施策は
- ②今後も総合病院として維持していくのか

(2) 小原丈司議員 (山と川の街大月) 9ページ

- ①保護者のニーズに合った保育所に入れるのか
- ②対話集会の出席人数は

(3) 小泉二三雄議員 (自由民主党) 10ページ

- ①本市の東部地域に消防の分駐所を設置する考えは
- ②事業開始前のモニタリングが必要では

(4) 藤本 実議員 (日本共産党) 11ページ

- ①木造住宅の耐震化をどう進めるか
- ②子どもの貧困対策への市長の決意は

● 一般質問

(5) 鈴木基方議員 12ページ

- ①焼却灰は本当に安全なのか
- ②ビニールハウス設置助成を

(6) 小林信保議員 13ページ

- ①ふるさと教育を起点とした職業体験型の観光を
- ②県に対し補助制度の創設を働きかけてはどうか

本文は要旨の掲載であり、質問者自身が責任を持って作成したものです。詳しい内容については、会議録(3月上旬発行予定)を図書館及び市のホームページ(<http://www.city.otsuki.yamanashi.jp/>)で閲覧することができます。



代表質問



清風会 & 公明
西室 衛

Q 平成29年度の予算総額及び、重点施策は

A 予算総額は114億円程度、総合戦略における事業を最優先

問 平成29年度の予算編成が行なわれているが、予算総額と重点施策は何か。

答 市長

来年度は「大月市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を着実に推進して、2040年の目標人口である1万

あった「持続的なまちづくり」に着眼した事業の推進を中心とした予算編成方針としました。

予算の総額ですが、来年度の一般会計当初予算の現時点での要求額は、114億円程度となっています。

次に「重点施策は何か」についてです。

今年度策定している「おつき創生都市計画マスタープラン」に基づき、来年度は、大月駅周辺に居住や福祉・医療・商業の立地誘導や、インフラ・公共施設等の整備を図るとともに、有利な補助制度を活用するため「立地適正化計画」を策定し、人口減少対策と地域活性化に対応した、より具体的なまちづくりの将来像を市民の皆様にお示ししたいと考えています。

9、000人を目指すためのスタートの年です。総合戦略において計画されている事業を最優先し「大月の特性を生かした雇用の場の創出」「住みたくなる地域づくり」「結婚・出産・子育てをしやすい環境づくり」「住み続けたくなる魅力的なまち」「地域を愛し、地域を育てる人材を育てるまち」と

Q 今後も総合病院として維持していくのか

A 継続して診療を行い、総合病院としての役割を果たしてまいりたい

問 対話集会において、中央病院に対する市民からの意見は何か。また、今後も総合病院として維持して行くのか。

答 病院事務長

「市長との対話集会」の中で、市民の皆様からは、中央病院で健診・人間ドックを受けてもらうよう情報発信等の取り組みの必要性、整形外科常勤医師の確保、施設や医療機器の十分な活用、さらに経営に関して経営形態の見直しなど、貴重なお意見をいただきました。次に「総合病院として維持していくのか」について

でありますが、当院は、災害拠点病院であり、また、地域医療を担う中核的な公立病院です。大規模な災害が発生した場合の対応や市内の診療所や医院を補完する後方支援病院としての役割のほか、市民の皆様身近で受診していただけるような診療体制を充実することも求められています。したがって、非効率で不採算な診療科についても市民の皆様ニーズに合わせる必要があり、今後も継続して診療を行い、総合病院としての役割を果たしてまいりたいと考えています。

代表質問



山と川の街大月
小原 丈司

Q 保護者のニーズに合った保育所に入れるのか

A 保育室及び職員の配置等を柔軟に対応し、受け入れ体制を整えます

問 1、2歳児の待機児童はなく、保護者のニーズに合った保育所に入れるのかお聞きします。

しながら、保育室及び職員の配置等を柔軟に対応し、新年度の受け入れ体制を整えてまいります。

答 市民生活部長

3歳未満児の保護者のニーズに応えられるよう、運営基準に見合う保育体制により、入所希望者数を確保

それに私を感じるどころ、何ら動きが見えないのです。どういう考えを持っているのかお聞きします。

答 市長

このご質問の考えの中で、やはり私自身も子ども・子育てのあり方というのは、国家的な戦略として考えるべきでありますし、大月市としましても、これからの人口減少対策の一つの大きなキーワードになっている部分もあると思っておりますから、この状況を踏まえながら、早期に対策を打っていきたいというふうに思っています、私自身も非常に頭を痛めているという部分であります。

小学校、中学校の適正化あるいは校舎の耐震化等のほうの目途がついた中で、今後早急にその流れを加速していければ、このように考えていますので、どうか皆様方のさらなるご支援、ご協力もあわせてお願いします。

再質問

問 19年、そして24年度には保育園・幼稚園適正化の検討委員会が答申をされています。

るところであります。

Q 対話集会の出席人数は

A 公民館を単位に10会場で594名でした

問 各所で行われた対話集会の出席人数とその意見集約は。

答 市長

今年度は、公民館を単位に10会場で実施し、地域別に見ますと、笹子65名、初狩48名、真木49名、大月70名、賑岡76名、瀬戸44名、七保66名、猿橋51名、富浜83名、梁川42名の合計で594名の参加をいただいたところであります。

また、意見集約については、事前に地域から寄せられた話題をもとにしまして、1会場当たりおよそ1時間

半ほどの意見交換を行ったところ、特に関心が高く意見の多かった内容は、大月駅北側の整備でした。

その一つの例を挙げますと、温泉施設や保育施設、宿泊施設などの建設や飲食店、量販店、市役所庁舎などを含む複合施設がよいのではないかと、意見もありました。

また、学校跡地についても話題となりましたが、おつき創生都市計画マスタープランにより、意見を反映していく考えを示しました。さらに、教育、子育てについての話題も多くなりました。

また、意見集約については、事前に地域から寄せられた話題をもとにしまして、1会場当たりおよそ1時間